

「光熱費ゼロ」全国表彰

太陽光発電に高断熱、高気密

先進的な省エネルギー住宅を全国規模で表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2014」で、住宅建築会社「住まいのウチイケ」（室蘭市八丁平5）が、大賞（2件）に次ぐ特別優秀賞（24件）を獲得した。同賞以上を受けた道内企業は2社だけで、ウチイケは初挑戦で栄光をつかんだ。

（津野慶）

産業界と研究者でつくる一般財団法人「日本地域開発センター」（東京）が2007年度から実施。エネルギー消費が少なく、実際に普及できる価格かどうかなどを審査する。

ウチイケは昨年7月に売り出してから3棟を建てた住宅「エコハウス ゼロ」で応募。高断熱、高気密の

構造と、太陽光発電を組み合わせて実質的に「光熱費ゼロ」とした点が評価された。標準的な4LDKの一戸建て（延べ約40坪）の場合、年間光熱費は同社既存の省エネ住宅「エコハウス」より25万円、一般的な省エネ住宅と比べ同40万円程度安いという。建築費はエコハウスより400万円ほど高くなるものの、光熱費ゼロのため長期的には割安になると同社は売り込んでい

る。同センターによると、本年度は200件ほどの応募があり、道内企業はウチイケと大鎮キムラ建設（苫小牧）の特別優秀賞が最高。ウチイケは「エコハウス」で優秀賞、企業として地域賞も獲得した。

「エコハウス ゼロ」は販売価格が割高なため営業が難しいのが悩み。内池秀光社長は「光熱費ゼロの住宅をつくるのが夢だったので表彰はうれしい。自動車のハイブリッド車のように、住宅も省エネの良さを知ってもらいたい」と話している。

表彰式は3月16日に東京で行われる。

室蘭「ウチイケ」の省エネ住宅



「エコハウス ゼロ」で特別優秀賞を獲得した「住まいのウチイケ」の内池秀光社長